

Title	芸文研究既刊総目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	1961
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.11, (1961. 1) ,p.151- 154
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00110001-0151

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

藝文研究 既刊総目次

◇第一号（一九五一年）美術学特集

- 創刊の辞……………西脇 順三郎
 ミケルアンデチェロの聖母……………守屋 謙二
 光琳肖像考……………菅沼 貞三
 江戸板木絵第一回の開花期……………波井 清
 播磨国常福寺裏山経塚出土品に縁って……………保坂 三郎
 大仏師康助の遺作に就いて……………岡直 己
 Palazzo Pitti——その原作者の問題について——……………相内 武千雄

彙報

◇第二号（一九五二—三年）

- 物語の成長——宇津保物語の場合……………池田 弥三郎
 俳諧月花の座……………清崎 敏郎
 チョン・セルデンのこと——その「茶話」をめぐって……………藤井 昇
 ジュリアン・グリーンの内心の旅路……………佐分 純一
 ブッデンブロオク以前……………江沢 建之助

西ドイツ文学活動の展望……………田中 次郎
 彙報

◇第三号（一九五四年）

- 実用の文学——女と花……………森 武之助
 住吉物語以後——継子苛め譚の類型に関する一考……………松本 隆信
 察……………藤田 祐賢
 耶齋志異研究序説——特に蒲松齡の執筆態度に就いて……………安原 基輔
 Gentle Tradition の崩壊……………大浜 甫
 アンドレ・マルロオの「孤独」……………八代 修次
 北野天神縁起絵巻の諸特徴……………高橋 文雄
 クライストの悲劇性……………

彙報

◇第四号（一九五五年）

- 伝統の周囲——芭蕉・西鶴……………森 武之助
 寺院僧侶の国典研究——主として中世をとりあげて……………佐佐木 一雄
 曾我物語伝承論……………塚崎 進
 紅樓夢の小説性——周汝昌の「紅樓夢新証」をめぐって……………村松 映

若きヘッセの人生態度乃至世界観……………井手 貴夫

反抗と絶望の黒人作家——Richard Wright——

……………安原 基輔

現代英文法の諸傾向——特に口語法について——

……………原沢 正喜

折口信夫教授講義題目

慶応義塾大学所蔵聊齋志異関係資料目録

彙報

◇第五号（一九五五年）

好色五人女——成立をめぐる試論……………樽谷 昭彦

近松世話物の考察（序）……………鈴木 昇

曾我物語伝承論——その二……………塚崎 進

紅楼夢論争に対する批判……………村松 暎

トーマス・マンのゲーテ観——「ヴァイマルのプロ

ッテ」を中心として……………小名木栄三郎

対話文学としての「ラモーの甥」——デイドロ研

究序説……………原 宏

資料紹介——「東洋之佳人」稿本、「絵入説本外

題作者画工書肆名目集」写本……………森 武之助

彙報

◇第六号（一九五六年）

明恵上人説話考……………佐佐木 一雄

稿本聊齋志異考勘記……………藤田 祐賢

曾国藩について……………佐藤 一郎

中国に於ける品詞分類の標記について——

『漢語詞美論争』の問題点……………川本 邦衛

シユエリーにおける神の問題……………瀬下 良夫

リルケ文学解明におけるハイデッガーの誤謬……………塚越 敏

アルベール・カミュの思想と風土について（ジャ

ン・グルニエとの比較による一考察）……………片桐 邦郎

彙報

◇第七号（一九五七年）

野守鏡にみられる宗教性……………佐佐木 一雄

おせんとおさん——西鶴の場合……………竹重 信幸

ヘルマン・ヘッセに於ける東洋思想概観……………飯田 国男

アンドレ・ジッド「ユリアンの旅」の成立につい

て……………若林 真

ラシーヌの「La Thébaïde ou Les Freres

ennemis」について……………佐藤 真

イェイツと能・序説「At the Hawk's Well」

4 “The Only Jealousy of Emer” に関す

る考察を中心として……………石橋 裕

曾国藩と俗文学……………佐藤 一郎

Plantus における感嘆及び疑問の ut 十直説法又

は接続法の使用について……………藤井 昇

資料紹介——炎涼岸・女開科伝・知不足齋原本批

点聊齋志異……………藤田 祐賢

書評——Erwin Panofsky's, Early Nether-

landish Painting—its origins and cha-

racter……………八代 修次

彙報

◇第八号（一九五八年）慶応義塾創立百年記念

小沢蘆菴論……………香川 景松

源氏物語における「いろいろのみ」の概念……………西村 亨

もうひとつの忠臣蔵——四谷怪談考……………仲井 幸二郎

伊勢物語真名本に就いて……………伊藤 哲夫

内部の論理——ロマン主義詩学の興起にかんする

一考察……………由良 君美

シエクスピア喜劇に於ける扮装……………鈴木 周二

バルザック「ルイ・ランベール」について……………高山 鉄男

「ブルネレスキの穹窿」……………相内 武千雄

浮彫の種類について……………海津 忠雄

ツァワン著聖成吉思可汗の金言……………田中市郎衛門

彙報

◇第九号（一九五九年）

『太平記』作者の思想——「北野参詣人政道雑談事」

に現われた政道観について……………長谷川 端

〈把[po]〉を含む形式について——その統辞論的

分析……………川本 邦衛

ジョン・ダンの「The Extasie」——詩の構造

に關する一考察……………和田 且

絶対詩の課題の一つ——ヴァレリ・ゲオルゲ・ペ

ン……………深田 甫

ジェラルド・ド・ネルヴァルに於ける「自然」の

イマジニに就いて……………小浜 俊郎

Malory の「The Tale of the Morte Arthur」

の言語について——Malory の英語の成長と体

系……………小川 繁司

The Book of the Duchess に関する一考察…小長谷 弥高

彙報

第十号（一九六〇年）

日本靈異記下卷第三十八縁に就て……………	福島 行一
浜松中納言物語に於ける唐土の問題……………	池田 利夫
列女説話の伝承について……………	林 恵一
『老水夫』のモラルと「千一夜物語」の寓喩……………	由良 君美
クルト・マイによる『マイスターの修業時代』解	
釈の問題点について……………	猿 田 恵
『さかしまに』とポール・ヴァレリー……………	山 田 直

彙報

◎第一号〜第九号の購入御希望の方は、本会事務所に御照会をこ
う。（各定価二〇〇円、但し九号三〇〇円、十号より一五〇円）